



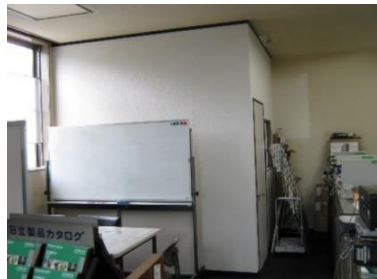
カトウ酸素株式会社

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



今日もスタートは
掃除、地域の
ゴミ拾いから
「安全運転でよし
行くぞ」



® 環境省

エコアクション21
認証番号005324

作成日： 2025年4月30日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

Our Policy

会社理念



高圧ガスや機器の販売を通じて
地域の産業・医療・農業などに貢献する

和歌山の地に創業して約100年。

我々は決して目立つ存在ではありませんが、地域の皆様とともに成長して参りました。

高圧ガスは工業・医療・農業・食品など多岐にわたる分野でご使用いただいております。

当社は高圧ガスの販売を軸にお客様のご要望に応じた様々なサービスを提供し、地域産業の発展に貢献いたします。

ごあいさつ

お客様に信頼と安心を

昭和2年の創業以来、高圧ガスの販売を主体に溶接材料及び関連機器の販売に注力してまいりました。当社は商品を提供するだけではなく、時代の新しい動向に対応した技術・情報等もお客様と共有し、互いに成長することを社命として考えております。

私たちは高圧ガスを取り扱う企業として、より安全にご利用いただくための社員教育等にも力を入れていきます。長年にわたって培ってきた技術やノウハウを活用し、社会に貢献できる企業を目指してまいります。皆様におかれましても、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

環境経営方針

環境経営理念

カトウ酸素株式会社は、海・山の幸に恵まれたここ和歌山の地にあり、主に高圧ガスを地域企業に供給しています。

その企業活動が地域社会の自然環境および地球環境に与える影響を考慮し、組織的にかつひとりひとりが自主的・積極的に、以下の項目を継続的に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

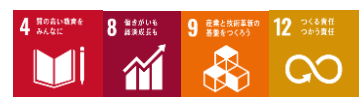
2 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

3 廃棄物の3R（減量、再利用、再生利用）の推進

4 水資源の節約

5 地域・ひと・安全

6 この環境経営方針をひろく周知します。



制定日：2007年8月7日

改定日：2021年7月8日

代表取締役社長 稲葉 健司

(1) 名称及び代表者

社名：カトウ酸素株式会社

代表者名：稲葉健司

本社

〒640-8462 和歌山県和歌山市粟192番地

紀北営業所

〒648-0007 和歌山県橋本市紀ノ光台1丁目1-39

中紀営業所

〒644-0005 和歌山県御坊市名屋町3丁目4-1

事業内容

活動：高圧ガス及び溶接材料の販売

事業の規模

2021年度	本社	紀北営業所	中紀営業所	全体
従業員(名)	14	6	4	24
主要ガス出荷量(m3)	1,730	243	7	1,980
延べ床面積(m2)	1,032	342	405	1,561

※2021年3月31日現在

事業年度

2024年4月1日～2025年3月31日

登録組織名：カトウ酸素株式会社

対象：本社、紀北営業所、中紀営業所

活動：高圧ガス及び溶接材料の販売



Gas
高圧ガス

高圧ガスは工業・医療・農業・食品など様々な分野で使用されています。

当社は各種高圧ガスのデリバリーはもとより、お客様毎に最適な供給方法のご提案や供給設備工事、保安業務等を行っています。

取り扱い品目
アセチレン、プロパン、酸素、窒素、炭酸、アルゴン 他



Machinery and Tools
各種工具・産業機械

レーザー加工機のような大型機械からドライバーやペンチといった工具まで幅広い商品を取り扱っております。

作業効率化や自動化、省エネなどを検討の際は当社までご相談ください。

取り扱い品目
大型加工機、コンプレッサー、電動工具、切刃工具 他

製品紹介



Welding
溶接・溶材関連

鉄鋼や金属加工に欠かせない各種溶接機、溶接材料を取り扱っております。

当社は営業担当者に溶接関連の有資格者を配属しておりますので、お客様の仕事内容に応じた機材の提案などを行っています。

取り扱い品目
各種溶接機、溶接棒、溶接ワイヤー、安全防具、砥石 他



Safety and Health
安全衛生関連

スポットクーラーなどの熱中症対策やLED照明化等による省エネ対策だけではなく、AED等の医療機器や空気清浄機なども取り扱っております。

皆様の安全・安心な職場環境の構築に向けてご協力いたします。

取り扱い品目
空調機器、集塵機、安全衛生関連(手袋、マスクなど) 他



Chemical Products
化学品・塗料・接着剤

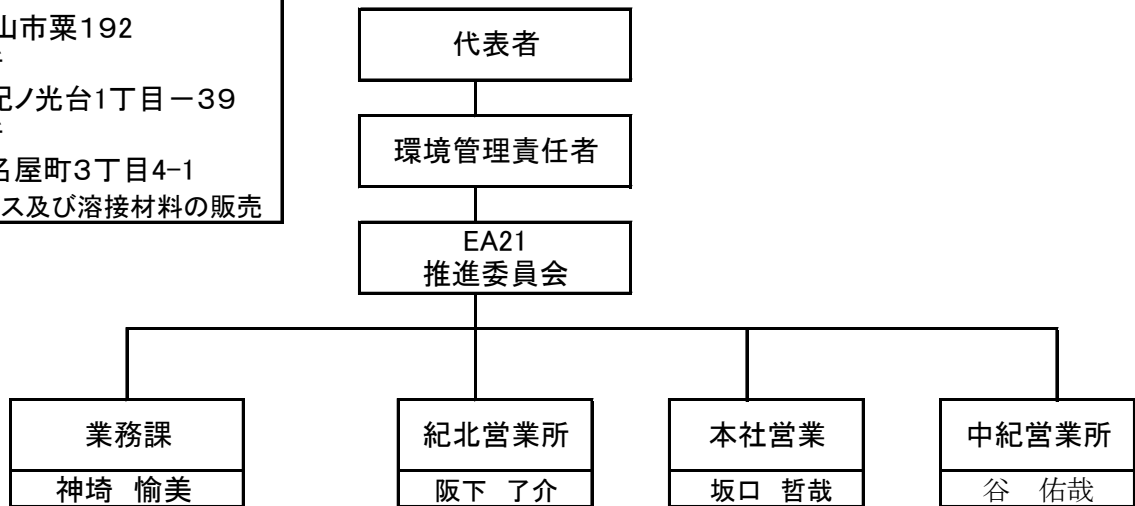
建材や家具、自動車に住宅設備、医療など、様々な業界で必要とされる塗料・接着剤を取り扱っております。

多彩なご利用場面にお応えいたします。

取り扱い品目
塗料、接着剤

環境経営システム組織図

認証・登録の適用範囲
住所
本社：和歌山市粟192
紀北営業所
橋本市紀ノ光台1丁目-39
中紀営業所
御坊市名屋町3丁目4-1
活動：高圧ガス及び溶接材料の販売



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告・ 環境活動レポートの確認。
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) SDGsの計画及び実施状況の確認評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	162,962	133,638	120,038
廃棄物排出量	kg	655	2,265	810
一般廃棄物排出量	kg	565	2,175	560
産業廃棄物排出量	kg	90	90	250
水使用量	m ³	69	0	69

※二酸化炭素排出係数 0.350 kg-CO2/kWh 2020年度 関西電力の調整後係数

□環境経営目標及びその実績

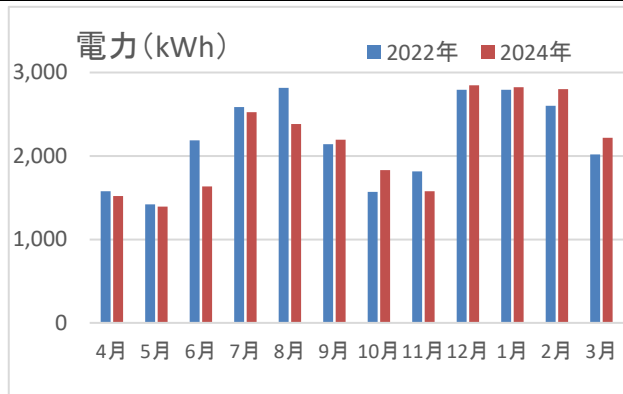
項目	年度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,282	9,189	9,011	○	9,096	9,003
	基準年度比	2022年	99%	97%		98%	97%
ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	31	30	23	○	30	30
	基準年度比	2022年	99%	73%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	121,307	120,094	111,004	○	118,881	117,668
	基準年度比	2022年	99%	92%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		130,619	129,313	120,038	○	128,007	126,701
一般廃棄物の削減	kg	565	554	560	×	554	548
	基準年度比	2022年	98%	99%		98%	97%
廃プラの再資源化量向上	kg	90	91	250	○	92	93
	基準年度比	2022年	101%	278%		102%	103%
水道水の削減	m ³	69	68	69	×	68	67
	基準年度比	2022年	99%	99%		98%	97%
地域・ひと・安全への取組	・環境経営計画の取組結果とその評価欄に記載						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	目標達成。酷暑であったが節電が出来た。一人ひとりの意識の積み重ねの結果だともう。引き続きパソコン、照明入り切りをこまめに行う。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・南向き室外機に日よけをつける	○	
・不快指数に注目し冷房する	○	



取組紹介欄

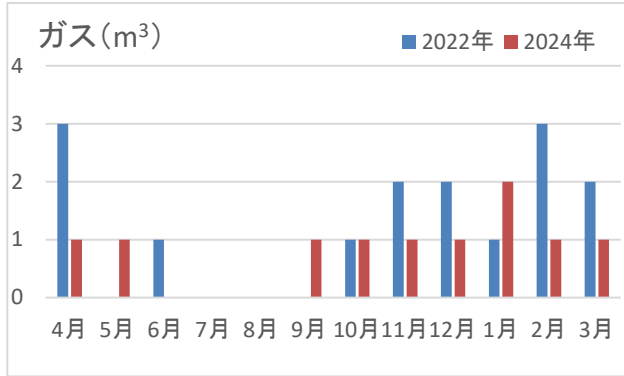


次年度の取組内容

エアコンの室外機に影をつくり 効率を上げる。
 エアコン周辺の掃除により風通しを確保する

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	1,577	1,419	2,186	2,586	2,818	2,142	1,569	1,814	2,792	2,792	2,600	2,020
2024年	1,520	1,393	1,635	2,526	2,382	2,195	1,829	1,576	2,848	2,823	2,801	2,218

ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	目標達成。湯沸かしすぎに注意する。冬場の使用がほかの季節に比べて多い。
・湯沸かしの使用節約	○	
	○	



取組紹介欄

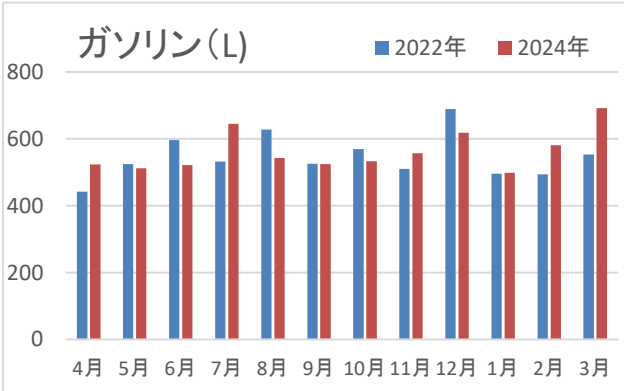
次年度の取組内容

次年度も継続します



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	3	3	1	0	0	0	1	2	2	1	3	2
2024年	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	目標達成。効率の良い配送計画を都度見直して実施できた。燃費管理の実施が燃料の節約につながっている。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	



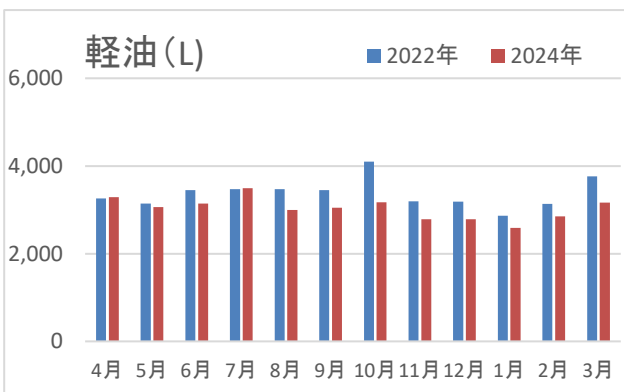
取組紹介欄

次年度の取組内容

燃費管理を継続して行ないます



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	442	524	596	532	628	525	569	510	689	496	494	553
2024年	523	512	521	645	543	524	533	557	618	499	581	692



取組紹介欄

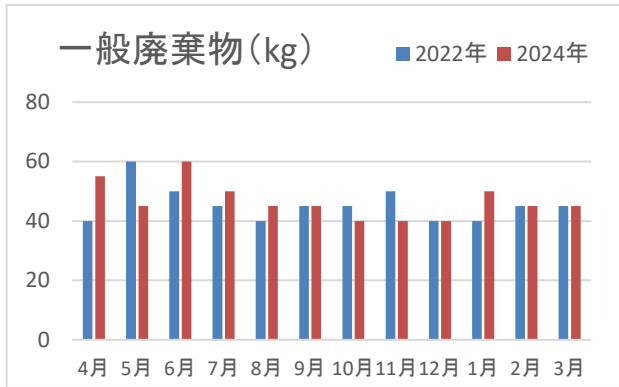
次年度の取組内容

燃費管理を継続して行ないます



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	3,258	3,144	3,448	3,472	3,471	3,448	4,098	3,192	3,190	2,863	3,137	3,760
2024年	3,289	3,062	3,145	3,490	2,998	3,050	3,171	2,787	2,782	2,589	2,853	3,165

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	目標未達成。雑紙(ざつがみ)に注目し別途回収ボックスを用意し、再資源化ルートにのせる。同時にペーパーレス化を大いに進める。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	



取組紹介欄

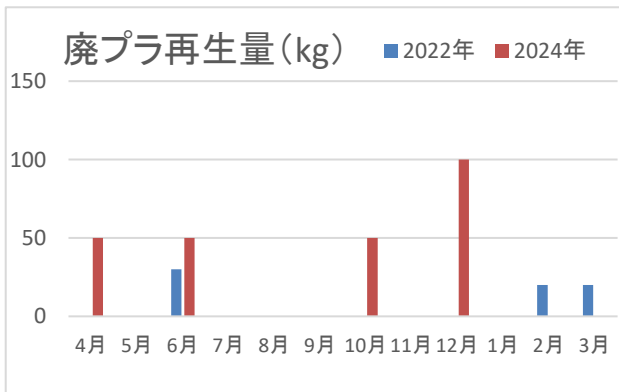
次年度の取組内容

ペーパーレスを継続していきます



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	40	60	50	45	40	45	45	50	40	40	45	45
2024年	55	45	60	50	45	45	40	40	40	50	45	45

廃プラの再資源化量向上	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	目標達成。製品の販売拡大により、製品を巻いているリールの回収作業が進んでいる。今後とも引き続き、一層多くの使用済みのリール回収に努める。
・発生源を把握します	○	
・発生時点で削減できないか考えます	○	
・産廃に関する学習をします	○	



取組紹介欄

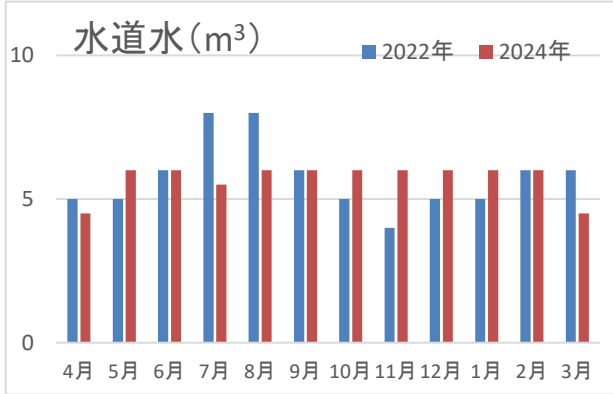
次年度の取組内容

今後とも引き続き、一層多くの使用済みのリール回収に努める。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	20	20
2024年	50	0	50	0	0	0	50	0	100	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	目標は未達成であったが、基準年度と同様の使用量であった。今後は、洗濯物はまとめ洗いなどで、回数を少なくする。また、洗車は回数を少なくする。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・漏水の定期的な点検の実施	○	
・雨水の有効活用	○	



取組紹介欄



次年度の取組内容

今後は、洗濯物はまとめ洗いなどで、回数を少なくする。また、洗車は回数を少なくする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	5	5	6	8	8	6	5	4	5	5	6	6
2024年	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5

地域・ひと・安全への取組と活動	達成状況	取組結果とその評価
・EA21活動の活性化	△	取組不鮮明と言うこれまでの反省の上にたち、来期より記載した行動目標について評価見直しを行なう。SDGsについて勉強していく。
・ガスボンベの管理	○	
・地域清掃	○	
・SDGsの取組	△	

各事業所の取組紹介



本社

〒640-8462 和歌山県和歌山市粟192番地

TEL. 073-451-2769 FAX. 073-452-0149



紀北営業所

〒648-0007 和歌山県橋本市紀ノ光台1丁目1-39

TEL. 0736-36-2470 FAX. 0736-36-2471



中紀営業所

〒644-0005 和歌山県御坊市名屋町3丁目4-1

TEL. 0738-22-2517 FAX. 0738-22-2516

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集業との契約、マニフェスト管理、マニフェスト交付状況報告書
高圧ガス保安法	貯蔵基準、移動基準、消費事業者へ安全の呼びかけ、従業員の保安教育定期実施
毒劇法	対象化学物質の管理（出在庫、施錠、当局への報告）
浄化槽法	浄化槽の11条検査、保守点検、清掃
オフロド法	基準適合標識表示、フォークリフトの特定自主検査
道路交通法	アルコールチェックの実施、記録保管
消防法（一部ガスの届出）	火災予防のための消防活動阻害物質（取扱・貯蔵）の届出、消火器の設置
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等


本年度は苦情等はなかった。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：事故発生時	
■実施日 2024年11月30日	■実施場所 本社 各営業所
■参加者 営業員 全員	
■実施内容： 事故発生時の緊急連絡の確認	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
久しぶりの事故発生対応訓練で、新入社員にとっても良い経験となりました	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年4月29日

【前回の指示への取組結果】		
<p><情報> ◇自社を取り巻く環境問題の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス事故等を防ぐため 社会的要請である容器管理等が厳しくなっている <p>◇環境目標・活動計画の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量(電気、燃料他):達成、 ・水使用量:達成 ・社会・ひと・安全:取組不十分 <p>◇実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs推進体制の強化 <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境関連法規:順守 ・全ボンベをノンアスベスト型に更新した 		<p><見直し・指示> ◇環境経営方針(変更なし)</p> <p>◇環境経営目標・環境経営計画(変更なし)</p> <p>◇実施体制(変更なし)</p> <p>◇その他</p> <p>地域高圧ガス保安協議会の活動に合わせて、事故防止の教育訓練を実施する。</p>
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器のデータ管理により差別化を目指す。 ・財務指標と非財務指標を総合的にとらえていく。 		

これまでの環境活動の紹介

SDGs Report

SDGsレポート

～人材・技術・環境の調和と社会的責任について～

カトウ酸素株式会社は、高圧ガス工業グループの一員として、グループ各社と連携し、「社会変化に対応しながらお客様と一緒に成長する」ことを社命として考えております。その方針のもと、各種事業活動を通じてSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の達成に向けて取り組み、地域社会とともに持続的に成長していくことを目標と致します。

<https://kato-o2.co.jp/pdf/csr/SDGs-Report.pdf>

